



# 10月 保育所だより



●保護者様作●  
ストローで作ったエビです

令和2年10月号  
わにぶち保育所  
TEL 0853-31-5101  
090-5700-4757

朝晩涼しくなり、秋の深まりを感じるようになってきました。

子どもたちは運動会に向けて、毎日みんなで体操をしたり走ったりして、いろいろな運動遊びを楽しんでいます。種目に取り組む姿には一人ひとりのやる気を感じられ、応援にも熱が入ります。当日は、保護者の皆様のあたたかい見守りのもとで自分の力を十分に発揮してほしいと願っています。ご声援よろしくお祈りします。

さて、今月は引き続きいろいろな運動遊びを楽しみ、思いきり体を動かす心地よさを感じられるようにします。また、散歩に出かけ自然豊かな地域の秋に目を向け、実際に触れて遊び、いろいろな人とのかかわりの中で豊かな体験ができるようにと考えています。

## 🍎🍌🍇🍓 10月の行事予定 🍎🍌🍇🍓

- 1日(木) お集まり会・身体測定(4・5歳児)
- 2日(金) 身体測定(2・3歳児)、芋掘り(4・5歳児)
- 5日(月) " (0・1歳児)
- 10日(土) 運動会、保育所開放日  
" ノーテレビ・ノーメディアデー
- 14日(水) 誕生会
- 15日(木) しまね自然と環境財団よるミニエコ講座(4・5歳児)
- 16日(金) やきいも会  
" 一日保育士&ままっ子クラブ②
- 19日(月) 避難訓練
- 20日(火) 不審者侵入時対応訓練・防犯教室  
" 集金日
- 21日(水) 3施設5歳児交流保育(風車公園)・・・中部・みなみ来所
- 22日(木) パースデープロジェクト(5歳児)
- 27日(火) 弁当の日  
" イカの一夜干し体験(吉川商店)
- 29日(木) クッキング(羽釜ご飯、さんま焼き)
- 30日(金) 3施設5歳児交流保育(風車公園)・・・北部・平田来所  
" 布団持ち帰り

### <11月の主な予定>

- 5日(木) 一日保育士&ままっ子クラブ③
- 20日(金) 一日保育士&ままっ子クラブ④



新しいお友だちです。よろしくね!  
♥かわせ いちかさん(さくらんぼ組)

### \*ありがとうございます\*

なす・さつま芋・じゃが芋・栗～保護者様  
かざぐるま～北浜コミュニティーセンター様



## <<お知らせ>>

### ●運動会について

10日(土)は運動会です。雨天時は北浜小学校体育館で行います。  
(詳細については9/18発行のお便りをご覧ください。)

### ●布団の持ち出しについて

午睡用掛布団の持ち出しをお願いします。なお、日中はまだ暑い日もありますので、しばらくの間タオルケットと併用します。

### ●不審者侵入時対応訓練について

20日(火)は出雲警察署の方に来ていただき、不審者が侵入してきた時のことを想定して訓練をします。子どもたちには知らない人にはついていけない等、指導をしていただきます。

### ●クッキングについて

29日(木)は、所庭でさんまを炭火焼にします。あわせて、かまどを作り羽釜で新米を炊きます。

### 職員出張のお知らせ

- ・3日 人権・同和教育基礎講座～奥、曾田
- ・29日 子ども健康フォーラム島根～錦織



### ○保育目標～秋の自然に触れて遊ぼう

過ごしやすい気候になりますので、所庭や散歩に出かけて秋の草花や木の実など身近な自然にふれながら遊びに取り入れます。また、心地よい風を感じ自然の変化にも興味を持てるよう、働きかけていきます。

### ○生活目標～薄着で過ごそう

これから少しずつ気温が下がりますが、薄着で過ごすことで皮膚が丈夫になり、また、暑さや寒さに体が敏感になり、体温調節機能が高まります。日中は半袖・半ズボンを着用し、しっかり体を動かして遊びますのでご協力をお願いします。朝、肌寒さを感じる時には、カーディガンなどの羽織りものを活用されるということです。

### \*遊びの様子\* ～いろいろな運動遊びを楽しんでいます～



### 「生き物を大事に育てる」～保育カンファレンスから学んだこと～

平田保育会では年に6回、各施設が保育カンファレンス(保育を公開し、意見交換をする)を行い、島根大学大学院の肥後先生から指導助言を受けています。今年度、わにぶち保育所は9/25に実施し、多くのことを学びました。カンファレンスを行ったぼたん組では、4月から周囲の自然環境に目を向け、子どもの発見や感動を大切にしながら保育を行っています。意見交換会で話が深まった内容のひとつが、『命の大切さ』についてでした。

初めは虫を捕まえることが楽しく、飼育ケースいっぱいには捕まえては翌日大半の虫が死んでしまうということが続いていました。その都度どうすればよいか子どもたちと考える場を設け、『命』についてもふれて話をしてきました。飼育するうちに、少しずつ子どもたちも生き物への愛情が芽生え、水替えをしたり、「食べないと死んでしまうから」と餌を持ってきたりと、生き物を大切に育てる姿が見られるようになってきています。

『生命尊重』について改めて考える機会となり、参加者からは「年齢に合った伝え方が必要ではないか」「生き物の死をくり返し体験することで学ぶのではないか」といった意見があがりました。

カンファレンスを終えて、肥後先生から『生き物の命』についてのメールをいただきました。朝日新聞の読者投稿欄の記事から、「小さな虫を大切に飼うことができるのはやはり大人で、その大人の側に『本当に学ぶこと』があったとき、それが子どもに伝わるのだな」と、コメントが添えられていました。

今回学んだことを心にとめて、保育をしていきたいと思えます。



「ザリガニのお家」を作っています。

### 📖🍂📖 ~読書はいかがですか?~ 📖🍂📖

皆さんにとって秋といえば『食欲の秋?』『スポーツの秋?』『読書の秋?』いろいろと思いつかんでくると思います。

子どもたちは、保育所で絵本を読んでもらうひとときが大好きで、目を輝かせながら見ている光景を度々見かけます。秋の夜長、絵本を通してゆったりとお子さんとふれあう時間を作ってみられてはいかがでしょうか?

絵本を選ぶ時のポイントを載せていますので、参考にしてみてください。

### <絵本の選び方>

子どもに読み聞かせをする絵本を選ぶときのポイントは、年齢や発達に合っているかどうかということです。乳児は、まだ言葉の理解が十分ではないので、リズムのある楽しい言葉を使った絵本を選び、言葉に対する関心を育ててあげましょう。幼児期は、ストーリー性のある物語絵本や友だち・気持ち・命などをテーマとした心情で受け止める絵本、科学絵本など幅広いジャンルから選ぶとよいです。また、いつも大人が選ぶのではなく、子ども自身が選ぶことも大切です。自分が選んだ絵本を読んでもらう時、子どもは喜んで絵本に向き合ってくれるでしょう。

【参考文献 保育雑誌 Pot】